

墨田川 高等学校 令和6年度(2学年用) 教科

外国語 科目 論理・表現Ⅱ

教科: 外国語

科目: 論理・表現Ⅱ

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 A 組～ H 組

使用教材: ( Vision Quest 24Grammar, Vision Quest 24Grammar Workbook, Ultimated VQ, 英文法Vintage, Vintage Canvas(文法編・語法確認問題集), Vision Quest Hope II

教科 外国語

の目標:

【知識及び技能】

日常的・社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを標準的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、意見や主張などの論理の構成や展開を工夫して伝え合うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

日常的・社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを標準的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ち、また意見や主張などの論理の構成や展開を工夫して話し、伝えることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

日常的・社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを標準的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ち、また意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。

科目 論理・表現Ⅱ

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。外国語の技能(話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。	場面・目的・状況等に応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたり読んだりした内容を活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	前期				配当 時数
				知	思	態		
	A 仮定法 【知識及び技能】 仮定法の様々な形式を含む英文を読んで理解し、表現したい内容に応じて使い分ける。 【思考力、判断力、表現力等】 後悔や弁解、願望などを仮定法を用いて述べるができる。 【学びに向かう力、人間性等】 後悔や弁解、願望などを、仮定法を用いて伝える様々な表現を学ぶ。	・指導事項: パワーポイントを使用し説明 ・副教材 Vision Quest New English Grammar 24	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて学習のまとまりごとにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○		4
	B 時制 【知識及び技能】 英語の時制表現方法のルールを理解し、表現したい内容に応じて使い分けできる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章中にある時制を表す語句(表現)を見つけ、正しい表現を判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 時制を意識して自身の習慣や過去の出来事など日常を英語で表現する力を養う。	・指導事項: パワーポイントを使用し説明 ・副教材 英文法Vintage Canvas	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて学習のまとまりごとにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○		3
	B 受動態 【知識及び技能】 英語の受動態表現方法のルールを理解し、表現したい内容に応じて使い分けできる。 【思考力、判断力、表現力等】 英文でS(主語)を把握し、受動・能動の判断をし、正しく表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 受動態がよく用いられる英語表現を把握し、日常的な出来事など受動態を用いて英語で表現する力を養う。	・指導事項: パワーポイントを使用し説明 ・副教材 英文法Vintage Canvas	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて学習のまとまりごとにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○		3
	第1回定期考査			○	○	○		1
	C 助動詞 【知識及び技能】 助動詞の種類とそれぞれのもつ役割を確認し、正しく使い分けできる。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な助動詞の意味や使い方を正確に運用し、正しく表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 助動詞を使い分けて、自身の考えや予測、過去の出来事や日常のルールなどについて表現する方法を学ぶ。	・指導事項: パワーポイントを使用し説明 ・副教材 英文法Vintage Canvas	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて学習のまとまりごとにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○		3
	D 仮定法 【知識及び技能】 仮定法の様々な形式を含む英文を読んで理解し、表現したい内容に応じて使い分ける。 【思考力、判断力、表現力等】 後悔や弁解、願望などを仮定法を用いて述べるができる。 【学びに向かう力、人間性等】 後悔や弁解、願望などを、仮定法を用いて伝える様々な表現を学ぶ。	・指導事項: パワーポイントを使用し説明 ・副教材 英文法Vintage Canvas	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて学習のまとまりごとにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○		3

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	★テーマに沿った文章を書く 【知識及び技能】 適切な主語、動詞、時を意識し文と文を繋ぐ語句を適切に用いて表現する方法を学ぶ。 【思考力・判断力・表現力等】 テーマに沿って慣用表現などを活用しある程度まとまった英文を正確に書く力を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 イラストなどを見てそれを正しく情報を伝えようとする力を養う。	・指導事項 パワーポイントとプリントを使用し説明と活動 ・教材 Vision Quest Hope II	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて学習のまとまりごとにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	4
	第2回定期考査			○	○	○	1
	E 不定詞 【知識及び技能】 これまでに学んだ不定詞の知識を生かし、標準的な入試問題を正確に解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 形式主語構文意味上の主語を正しく理解し、使用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 不定詞を使用した適切な表現方法を学ぶ。	・指導事項： パワーポイントを使用し説明 ・副教材 英文法Vintage Canvas	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて学習のまとまりごとにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	4
	F 動名詞・不定詞 【知識及び技能】 これまでに学んだ動名詞や不定詞の知識を生かし、標準的な入試問題を正確に解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 動名詞と不定詞で意味が違う動詞に気を付けて表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 動名詞と不定詞の違いを理解し、適切に表現する方法を学ぶ。	・指導事項： パワーポイントを使用し説明 ・副教材 英文法Vintage Canvas	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて学習のまとまりごとにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	3
後期	G 分詞 【知識及び技能】 これまでに学んだ分詞の知識を生かし、標準的な入試問題を正確に解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 名詞を修飾する分詞の用法や補語になる用法、また分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 分詞の用法を理解し、適切に表現する方法を学ぶ。	・指導事項： パワーポイントを使用し説明 ・副教材 英文法Vintage Canvas	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて学習のまとまりごとにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	3
	★テーマに沿った文章を書く 【知識及び技能】 適切な助動詞を意識し文を書く。また、自身の主張・その理由について適切な表現や語句を用いて表現する方法を学ぶ。 【思考力・判断力・表現力等】 テーマに沿って慣用表現などを活用しある程度まとまった英文を正確に書く力を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 イラストなどを見てそれを正しく情報を伝えようとする力を養う。	・指導事項 パワーポイントとプリントを使用し説明と活動 ・教材 Vision Quest Hope II	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて学習のまとまりごとにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	4
	第3回定期考査			○	○	○	1
	H 関係詞 【知識及び技能】 これまでに学んだ関係詞の知識を生かし、標準的な入試問題を正確に解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 関係詞を用いて複文を作り、語句を限定したり補足説明を加えたりできる。また、複合関係詞を用いて譲歩の表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 人や物事、経緯を詳細に説明したり、言い換えや要約をする表現を学ぶ。	・指導事項： パワーポイントを使用し説明 ・副教材 英文法Vintage Canvas	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて学習のまとまりごとにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	4
	I 接続詞 【知識及び技能】 接続詞の働きと役割、種類について把握し必要な場所に正しく使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文意を見抜き、接続詞を使ってその前後の文章をどう繋げるかを判断できる。また慣用的な接続詞を使って表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な接続詞がもつ意味を把握し、適切に表現する方法を学ぶ。	・指導事項： パワーポイントを使用し説明 ・副教材 英文法Vintage Canvas	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて学習のまとまりごとにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	3

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
後期	J 前置詞 【知識及び技能】 様々な前置詞のもつイメージを把握し、 大まかなイメージを掴むとともに、標準的 的な入試問題を正確に解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 群動詞や熟語などで使われている前置 詞詞を含む慣用表現を用いて表現する ことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な前置詞のイメージを理解し、使 用される場で適切に表現する方法を学 ぶ。	・指導事項： パワーポイントを使用し説明 ・副教材 英文法Vintage Canvas	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて 学習のまとまりごとにA、B、Cで評価し、学年末に5段 階評価の評定にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価 する。	○	○	○	3
	★テーマに沿った文章を書く 【知識及び技能】 ある程度まとまった英文を読んだり、聞 いたりしてその要旨をまとめ、人に伝え る方法を学ぶ。 【思考力・判断力・表現力等】 情報の内容を自身で精査し、正しい情 報を適切な表現を用いて人に伝える力 を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 受け取った情報を整理整頓し、まとめ ようとする力を養う。	・指導事項 パワーポイントとプリントを使用し説明 と活動 ・教材 Vision Quest Hope II	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて 学習のまとまりごとにA、B、Cで評価し、学年末に5段 階評価の評定にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価 する。	○	○	○	4
	第4回定期考査			○	○	○	1
	K 比較 【知識及び技能】 これまでに学んだ比較の知識を生か し、標準的な入試問題を正確に解くこ とができる。 【思考力、判断力、表現力等】 比較に関する様々な用法と表現を理解 し、物事の状態を分かりやすく説明で きる。 【学びに向かう力、人間性等】 最上級の言い換えや、熟語的な表現を 学ぶ。	・指導事項： パワーポイントを使用し説明 ・副教材 英文法Vintage Canvas	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて 学習のまとまりごとにA、B、Cで評価し、学年末に5段 階評価の評定にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価 する。	○	○	○	4
	L 主語と述語動詞の一致 【知識及び技能】 英文を見て、S(主語)とV(動詞)を見分 ける。単複と時制を意識し、標準的な 入試問題を正確に解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 Sを正しく見抜いた上で的確にVを当て はめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本語と英語の表現の違いを理解し、 SVを意識し英語らしい表現を学ぶ。	・指導事項： パワーポイントを使用し説明 ・副教材 英文法Vintage Canvas	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて 学習のまとまりごとにA、B、Cで評価し、学年末に5段 階評価の評定にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価 する。	○	○	○	3
	M 疑問文 【知識及び技能】 これまでに学んだ疑問文の知識を生か し、標準的な入試問題を正確に解くこ とができる。 【思考力、判断力、表現力等】 howとwhatの適切な使用場面を理解 し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 howとwhatの違いを理解し、疑問詞を 用いた慣用表現を学ぶ。	・指導事項： パワーポイントを使用し説明 ・副教材 英文法Vintage Canvas	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて 学習のまとまりごとにA、B、Cで評価し、学年末に5段 階評価の評定にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価 する。	○	○	○	3
	N 否定 【知識及び技能】 これまでに学んだ否定の知識を生か し、標準的な入試問題を正確に解くこ とができる。 【思考力、判断力、表現力等】 否定語句を用いない否定表現を理解 し、使用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 否定の様々な形式を含む英文を読ん で理解し、表現したい内容に応じて使 い分ける	・指導事項： パワーポイントを使用し説明 ・副教材 英文法Vintage Canvas	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて 学習のまとまりごとにA、B、Cで評価し、学年末に5段 階評価の評定にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価 する。	○	○	○	3
	O 倒置・省略・代用・強調・主語と動詞 の呼応 【知識及び技能】 これまでに学んだ文法の知識を生か し、標準的な入試問題を正確に解くこ とができる。 【思考力、判断力、表現力等】 初めて見る文や表現したことのない内 容を、様々な文法的な知識と形を使っ て読み取り、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 これまでに学んだ文法的な知識を組み 合わせて表現できる。	・指導事項： パワーポイントを使用し説明 ・副教材 英文法Vintage Canvas	【知識・技能】、【思考・判断・表現】、 【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいて 学習のまとまりごとにA、B、Cで評価し、学年末に5段 階評価の評定にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価 する。	○	○	○	3

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
後期	<b>P 語法</b> <b>【知識及び技能】</b> これまでに学んだ動詞・名詞の語法の知識を生かし、標準的な入試問題を正確に解くことができる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 伝達動詞や自動詞・他動詞を区別し、時制に気を配り適切に使用することができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 紛らわしい表現に注意し、適切な語法を用いて表現する方法を学ぶ。	・指導事項： パワーポイントを使用し説明 ・副教材 英文法Vintage Canvas	<b>【知識・技能】、【思考・判断・表現】、</b> <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> を各観点に基づいて学習のまとまりごとにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	3
	<b>★テーマに沿った文章を書く</b> <b>【知識及び技能】</b> 自身の願望や意見を詳細な説明や理由を加えて人に伝える方法を学ぶ。 <b>【思考力・判断力・表現力等】</b> 自身の願望や主張を整頓し、適切な表現を用いて人に伝える力を学ぶ。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 与えられたテーマに対し、自分なりの願望や意見をせいとんし、まとめようとする力を養う。	・指導事項 パワーポイントとプリントを使用し説明と活動 ・教材 Vision Quest Hope II	<b>【知識・技能】、【思考・判断・表現】、</b> <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> を各観点に基づいて学習のまとまりごとにA、B、Cで評価し、学年末に5段階評価の評定にまとめる。 学習に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	6
	第5回定期考査			○	○	○	1
							合計
							78